

製品名: TIMP1 (1S3) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe18948**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IF-P
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.25mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:1000-1:5000,IF-P 1:1000-1:5000
分子量	23kDa

抗原情報

遺伝子名	TIMP1
別名	CLGI; Collagenase inhibitor; EPA; EPO; HCl; Metalloproteinase inhibitor 1; TIMP; TIMP1;
遺伝子 ID	7076.0
SwissProt ID	P01033
免疫原	ヒト TIMP1 の合成ペプチド

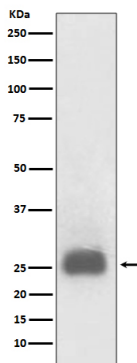
背景

TIMP1 は、コラーゲナーゼなどのメタロプロテアーゼと複合体を形成し、その触媒亜鉛補因子に結合して不可逆的に不活性化します。また、in vitro では赤血球生成を媒介しますが、IL-3 とは異なり、種特異的であり、ヒトおよびマウスの赤血球前駆細胞のみの増殖と分化を刺激します。MMP-1、MMP-2、MMP-3、MMP-7、MMP-8、MMP-9、MMP-10、MMP-11、MMP-12、MMP-13、および MMP-16 に作用することが知られています。コラーゲナーゼなどの標的メタロプロテアーゼと 1 対 1 の複合体を形成し、その触媒亜鉛補因子に結合して不可逆的に不活性化するメタロプロテアーゼ阻害剤です。MMP1、MMP2、MMP3、MMP7、MMP8、MMP9、MMP10、MMP11、MMP12、MMP13、および MMP16 に作用します。MMP14 には作用しません。また、細胞分化、遊走、細胞死を制御し、CD63 および ITGB1 を介して細胞シグナル伝達カスケードを活性化する成長因子としても機能します。インテグリンシグナル伝達においても役割を果たします。in vitro において赤血球生成を媒介しますが、IL3 とは異なり、種特異的であり、ヒトおよびマウスの赤血球前駆細胞のみの成長と分化を刺激します。

研究分野

心血管系

画像データ



TPA 処理した HL60 細胞溶解物における TIMP1 発現のウエスタンブロット分析。